

<週報No.2, 886> 2, 997 回例会

2019年6月28日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本 日	71.74%	14名欠席
前 回 訂 正	89.13%	6名欠席

◆ラッキーナンバー=No. 2 菊池俊樹君

◆ニコニコボックス=●古屋了君・加藤明博君=今期最後の例会となりましたが、一年間助けて頂きありがとうございました。●早出由男君=新年度役員の皆様ご苦勞様です。ご活躍をご祈念申し上げます。●山崎晃君=日経本日の朝刊に載って。次世代5Gに合わせ工場を改築致します。●東本清文君=約2年間出席委員でお世話になり、ありがとうございました。●玉本広人君・山田文雄君・北川和彦君・小口武男君・増澤洋太郎君・折井俊美君=古屋会長、加藤幹事、一年間お疲れ様でした。●太田信男君・有賀昭彦君・山崎晃君・森幸俊君=古屋会長、加藤幹事、役員の皆様ご苦勞様でした。●伊藤武利君=古屋会長には一年間格調高い会長告知を聞かせて頂き、ありがとうございました。●菊池俊樹君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・古屋了会長=本年度41回目となる結びの例会を迎えました。国際ロータリー、バリー・ラシン会長のテーマ「インスピレーションになろう」のもと、「一人一人がロータリーの価値を発見し、実践し続ける年に」という伊藤ガバナーの方針を受け、諏訪グループにおいて最も歴史あるクラブとしての責任を感じながら一年を務めさせていただきました。それぞれの委員会で行って下さいました活動については、前回より役員の皆様にお話ししている内容が、そのまま今年度の反省また評価ということになろうかと存じます。本日もよろしくお願ひ申し上げます。

8年前、折井会長のもと幹事としてロータリーを教えていただいた頃は、まさか自分が会長を全うできようとは思いませんでしたが、例会や行事の都度相談に乗っていただいた先輩の、ご自身の人生観やロータリーの重要性

を、私の機根に応じて語ってくださるその懐の深さと、会長の器量に合わせて人的ネットワークの在り様を見事に变化させる諏訪クラブの柔軟性に支えられまして、おかげさまで本日を迎えることができました。

その要となってくださったのが加藤幹事でした。地区大会の晩、加藤さんから勧められたスタインベックの小説「ハツカネズミと人間」ですが、先週やっと読みましたので、その感想を紹介させていただくことで、本日皆様への感謝の告知に代えさせていただきます。

「ハツカネズミと人間」は、世界恐慌の最中、カリフォルニアの農場を転々とする労働者の友情をテーマにした悲しいヒューマンストーリーです。亡きクララおばさんから、頭の回転の悪い大男レニーを託されたジョージは、馬鹿にされても、いじめられても、人に感謝することを止めない無垢なレニーの在り様に触発されつつ、いつか二人で土地を持つと夢を語りながら、子供のようなレニーをどこまでも守り支えようとするのですが、支え切れずに悲しい結末を迎えます。旧約聖書「創世記」のキーワードをテーマとした物語ではありながら、純真に人を敬うレニーの姿は、仏典で説かれる「不軽菩薩」と重なります。不軽菩薩というのは杖で殴られても、石を投げつけられても、全ての人を敬う修業を止めなかったその功德で釈尊となったという「釈尊の修行の途上」を表現した菩薩です。さて、一方の相棒のジョージもレニーの無垢な人間性に支えられて彼を守る使命に生きようとします。これは10月の会長告知で「弱者を自分の視野の中心に置き続けようとする朗らかさ」という表現をいたしました。その私の価値観にも通じます。「ハツカネズミと人間」は私にとって重要なインスピレーションとなりました。

加藤幹事と私。全く違うパーソナリティーですが、互いに接し方を模索しあう中で生まれた共感。これこそ私が会長として見出すことのできたロータリーの価値です。本年度の執行部を育てて頂いた歴代会長のご配慮に感謝申し上げます。

さて、結びに改めまして本年度を価値ある年度として下さいました加藤幹事をはじめ役員の皆様、事務局小口さん。また、役員諸兄をお支え下さった会員の皆様。更には例会場の心温まるおもてなしとともに、私の語る「藤原・布半物語」の顛末も楽しみにして下さった布半スタ

ップの皆様には最大の感謝の思いを込めまして、結びの例会の告知とさせていただきます。

◆**幹事報告・加藤明博幹事**＝①本日は役員退任挨拶です。



②ローターアクトの阿部会長が退任されます。色紙を回しますので、一筆お願い致します。③本日で幹事最後となります。古屋会長、ロータリ

一会員の皆様、布半の社員の皆さんに助けて頂き、無事終わることができ、御礼申し上げます。これからも諏訪ロータリーに貢献して参りますので宜しくお願い致します。ありがとうございました。

◆**クラブフォーラム 役員退任挨拶**

●**親睦・クラブ親善委員長・小針哲郎会員**＝去年の今頃開いた親睦委員会で、たくさんの意見を頂戴し、それを形に



していく一年でした。家族の方に喜んで頂けるという考え方を、肯定的に受け止めて頂き、理事会の皆様へ感謝致します。また委員会の皆様には

助けて頂き、ありがとうございました。

●**青少年奉仕委員長・平林明理事**＝古屋会長、加藤幹事、お疲れ様でした。小口副委員長、助けて頂き感謝致します。



委員会では六つの目標を立てましたが、合同例会の開催とスポーツ少年団・ガールスカウトへの支援のみ実施できました。会員増強を行わない

とローターアクトの存続の危機と危惧しています。再来年が地区大会ですので、ローターアクトを支えて頂きたいと思っております。

●**クラブ奉仕委員長・岩波寿亮副会長**＝この一年間あまり出番がなかったのは古屋会長のおかげです。ありがとうございました。私は昭和55年33歳で諏訪にUターンしてきました。ローターアクトには八十二銀行からの



●**社会奉仕委員長・藤森郁男理事**＝諏訪市の子供たちへ社会奉仕事業として蓼科保養学園へ図書への寄贈を行いました。また、担当例会に水の問題を取り上げようと思った



派遣で妹が入っていました。私の息子も会員にしましたので、皆さんも御子弟を会員にして頂ければと思います。一年ありがとうございました。

のですが、金子市長の訪問で、できなくなり申し訳ありませんでした。一年間ありがとうございました。

●**職業奉仕委員長・河西正一理事**＝担当例会を1月25日に行いました。職場訪問をしたかったのですが、打ち合



わせのタイミングが無く、自分の職業紹介をしてお茶を濁しました。申し訳なかったと思いません。一年間ありがとうございました。

●**会員選考委員長・山崎晃会員**＝諏訪ロータリーのメンバーの方は皆さん品の良い方々で、会員選考の出番がなく、みんな丸になっ



てしまい、大変気持ちの良い1年でした。ご協力ありがとうございました。

●**山田文雄副幹事**＝一年間加藤幹事の仕事を拝見いたしました。引継ぎをU S Bで頂いた



のですが、その中に幹事失敗メモというファイルがありました。これを参考

にしながら頑張ります。クラブ計画書を本日配布致しました。ご協力ありがとうございました。

●玉本広人会長エレクト＝11月に入ってから、山田幹



事予定者と飲み明かしつつ、役員・委員会の構成などを練らせて頂きました。クラブ計画書の準備も山田幹事が一人で進めて頂き、ありがと

うございます。古屋会長の会長告知を聞く度に、来年の会長告知で話す内容が見えてきません。これから一週間しっかり考えたいと思います。来年一年宜しくお願い致します。

●八幡一成直前会長＝直前会長とロータリー情報委員を



務めました。情報委員会の仕事の方が印象的でした。2月に、入会5年未満の会員の為のセミナーを開催しましたが、発表者として2週間

みっちりロータリーを勉強させて頂きました。副会長の時から、直前会長まで、無事に4年間過ごさせて頂き、皆様のご指導とご協力に対し感謝申し上げます。

●古屋了会長＝加藤社長の机の上にある「飲水思源」とい



う言葉を大切に掲げてやって参りました。また、これを実現するために、藤森郁夫会員のお話しが心に残っています。人生も仕事も落ち込むことがあ

る。それをそのまま受け入れて、そこから立ち上がる事が大切ということだそうです。さて、藤原正男さんは諏訪クラブの特徴を、こう表現されました。「会長の云うことは絶対で、また、会長は幹事に頭が上がらない。又、グループや派閥がなく全員が肚を割って話し合えるクラブです。」この通りでした。こちら小林恭一さんの名言ですが、「ロータリーは毒にも薬にもならない話を黙って聞いてくれて、その上拍手までしてくださる。本当にいいとこ

ろです。」皆様一年間お世話になりありがとうございました。

●伊藤武利SAA＝私が引退した時のSAAが森会員で、



大変厳粛なお仕事をされていたと覚えています。そういう伝統があるので、私語や雑談が無いのだと思います。川村副SAAと一緒に

に進めさせて頂きました。ありがとうございました。

◆今後の例会日程

7月5日	金	クラブ協議会
7月12日	金	クラブ協議会
7月26日	金	家族例会

執筆担当 石田孝一